

当院では以下の研究を実施しております。

この研究は、通常の診療で得られた画像データや過去の記録を使って行われます。このような研究は、国が定めた指針に基づき、対象となる患者様のお一人ずつから直接同意を得るかわりに、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

「肺炎重症化予測AIソフトウェア実用化検討と評価」

(東京品川病院、理化学研究所、富士通Japan株式会社の共同研究)

市中肺炎の症状ならびに転帰を高精度に予測する技術の開発と評価試験を行います。

1. 研究の対象

2015年1月1日から2024年11月30日の間に、当院（旧東芝病院を含む）において診断もしくは加療した市中肺炎の患者様

2. 研究目的・方法

研究目的：市中肺炎の症状ならびに転帰を高精度に予測する技術を開発するために、東京品川病院と理化学研究所が実施した「肺炎の症状と転帰の高精度予測モデルの開発」で開発した肺炎重症化予測技術を用いて実用化の検討を行う。

研究方法：1. 市中肺炎患者の検査データ、カルテ記録、画像データから個人を特定できる情報を除外して解析を行い、開発を行う。

2. 以下の機関と共同で研究する。

- ・ 国立研究開発法人 理化学研究所
- ・ 富士通Japan株式会社

※外部の機関には個人が特定できない状態にして、情報を共有します。

また、本研究で得られる情報は、本研究のみに用いられ、記載以外の機関に提供されることはありません。

なお、この研究の研究期間は2027年3月31日までを予定しております。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：臨床経過に関する情報、検体検査（血液、尿）、カルテ記載項目、画像データ等
収集したデータは厳重な管理のもと、研究終了後5年間保存されます。

4. 研究への利用を停止する場合

患者様に於いては、得られた情報の研究への利用をいつでも停止することができます。申し出をされる場合は本人または代理人の方より、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。なおこの場合でも、患者様が不利益を受けることは一切ありません。ただし、ご連絡をいただいた時点で、解析が既に行われている場合などには、解析結果を削除できないことがありますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

連絡担当者：東京品川病院 呼吸器内科 太田 真一郎

電話：03-3764-0511（代表）

研究責任者：東京品川病院 副院長 新海 正晴

作成日：2024年12月25日 第4版